令和８年４月７日

保護者のみなさんへ

# 令和８年度からの部活動について

中学校区一貫教育校園
玉野市立荘内中学校
校長　住田　義広

全国で中学校部活動の地域展開が進んでいます。これは教職員の働き方改革の大きな流れの中で推進されているものです。全国的に教員のなり手が激減し、教員不足が進行しています。

玉野市においても部活動ごとに市教育委員会が運営する「玉野地域クラブ」への移行が進んでいます。ある競技を徹底的に取り組むことで自分の将来を開きたい生徒は、すでに地域のクラブチーム等へ参加している状態です。

中学校における部活動は、健康のために運動をがんばるというレクリエーション的な活動になってきております。

このあたりの日本全体の動きは保護者の方々にもご理解いただき、お子さんの活動について、各家庭でご検討いただければと思います。

本校においても、教職員不足の状況は他校と変わらず、教員数は減少しました。そのため、様々な制約が生まれてきます。そうした中で、教育効果を高めつつ、教職員の働き方改革を進める観点で、今後の部活動運営を計画しているところです。

記

１　教職員の大量異動の中で

昨年度末の人事異動で毎年の事ですが多くの教職員が入れ替わりました。部活動顧問については大きく変わってまいりますので、御理解いただければと思います。

また、本校も教職員数減となっていますので、最低限の人数配置となることをお知りおきください。

２　主体性育成教育における部活動の推進

顧問の指示通りに活動するのではなく、部長を中心に自分たちで考え、活動する部活動を目指すことが重要であると考えます。毎月部長会を開催し、部長を中心に自治的活動が行えるよう、支援してまいります。

３　各部の参加大会の制限について

教職員の働き方改革がはじまって以来、教育委員会からは練習試合だけでなく、大会参加も最低限にとどめ、中学校体育連盟の大会以外の、いわゆる「協会」の実施大会等は参加を控えるように働きかけがありました。競技によっては実現しているものもありますが、そうでない競技もあります。大会参加をする場合、教員一人の時間外残業時間が２０時間程度発生することからの取組です。「子どもたちのために」でこれまで行ってきた不適切な状況を改善するための取組ですので、大会参加が減少していく状況についても、御理解いただきますようお願いいたします。

４　その他

本校といたしましては、国のスポーツ庁が示したガイドラインを遵守した活動時間を上回ることのないように適切な部活動運営を行うとともに、部活動担当教員による安全管理体制を構築して、生徒の自治運営による部活動の安全確保を進めてまいります。